

Title	『慶應義塾大学日吉紀要・自然科学』投稿規定
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2003
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 自然科学 (Hiyoshi review of natural science). No.34 (2003. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10079809-20030930-0082

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『慶應義塾大学日吉紀要・自然科学』投稿規定

1. 本誌は、原則として慶應義塾大学で自然科学を研究領域とする専任教員の報文を掲載する。
2. 報文は和文または欧文とし、その種別は、①原著論文、②綜説、③研究ノート、④資料、⑤論文紹介、などとする。
3. 原著論文の構成は各分野の慣習に従うが、①要約 (Summary)、②序文 (Introduction)、③材料と方法 (Materials & Methods)、④結果 (Results)、⑤考察 (Discussion)、⑥謝辞 (Acknowledgements)、⑦引用文献 (References) から成ることが望ましい。要約は欧文とし、150語前後で内容を簡潔にまとめ、Key words を付ける。原著論文以外の報文も、欧文表題を必ず付け、欧文要約があることが望ましい。
4. 和文原稿は新仮名使いとし、なるべく当用漢字を用い、外来語と生物の和名は片仮名とする。原稿はワープロまたはA 4判かA 5判横書原稿用紙を用いる。欧文原稿は厚手のタイプ用紙にダブルスペースでタイプし、左端を2.5cm あける。
5. 文献は本文に引用したものに限り、文献の並べ方の様式は各分野の慣習に従う。個々の文献の記載例を下に掲げるが、各分野の慣習に拠ってもよい。また、文献の表題は省略してもよい。
[雑誌]
森 八郎 (1972) DDVP 樹脂蒸散防虫剤の金属・顔料・洗料に及ぼす影響, 日吉論文集・自然科学編, 9号, 72-80. [[「巻」の表示の雑誌はゴチック数字のみで可]
Freeman, G.L. & Lindley, S.B. (1931) Two neuro-muscular indices of mental fatigue. *J. Exp. Psychol.*, 14, 6-32.
[書籍]
竹脇 潔 (1978) 無脊椎動物の変態, 日本発生物学会編『変態の生物学』, 1-34, 岩波書店。
Whitmore, R.L.(1968) *Rheology of the Circulation*. pp. 105-110, Pergamon Press.
Bergel, D.H. & Shulz D.L. (1971) Arterial elasticity and fluid dynamics. In “Progress in Biophysics and Molecular Biology”, Vol. 22, pp. 3-36, eds. J.A.V. Butler & D. Noble, Pergamon Press.
6. 図および表の番号は「Fig. 3, Table 2」または「図3, 表2」のようにする。図と表は本文原稿とは別にして、挿入希望箇所を本文原稿中に指定する。図が手書きの場合には黒インクを用い、白地用紙あるいは青罫のグラフ用紙を用いる。また、図には希望の縮尺率を明記することが望ましい。
7. 上記以外の執筆上の詳細は、執筆者に配布される執筆要綱による。
8. 再校までは著者が行う。原稿、原図などは、著者に返却される。
9. 別刷は50部まで無料とし、それを超えるときは有料とする。別刷代は、慶應義塾大学日吉紀要編集委員会の定めるところによる。

(1991年11月18日の自然科学部門会において改訂)